

## 自己評価（令和4年度）の結果と分析・今後の対応

令和4年度のやしま幼稚園の自己評価を正規教職員18名を対象に実施した。

### 【その結果の分析】

#### 1 評価の良かった項目

##### （1）教育内容・研修

- ① 新しい教育内容として取り入れたペップトーク保育やiPAD・電子黒板を使った指導

##### （2）地域の子育て支援センターの役割

- ① 働く保護者への対応として、預かり保育の拡充（早朝・延長など）

##### （3）安全管理・施設整備

- ① 外部侵入者に対する安全対策（静脈認証装置や監視カメラなどの設置）
- ② 災害時の避難路の確保・避難計画の作成・備蓄品の確保
- ③ 新型コロナウイルス感染症への対応（エコキメラによる消毒、手洗いなど）
- ④ 園舎・遊具等の安全点検、スクールバスを利用する園児の安全確保への取り組み

##### （4）保護者・地域との連携・コミュニケーション

- ① 幼児の発達の状況・課題について保護者相談の機会は十分ですか
- ② 新型コロナウイルス感染症への対応として、人数制限を行ったうえで行事を行ったこと、行事の様子をオンライン配信したこと

#### 2 評価がよくなかった項目

##### （1）教育内容・研修

- ① 幼児の教育・保育を行うにあたって、教職員間の共通理解・情報共有はできているか

##### （2）地域の子育て支援センターの役割

- ① 満3歳児のちゅうりっぷ組、1歳児のひよこ組、2歳児のたんぼぼ組の教育・保育は保護者のニーズに応えるものとなっているか

##### （3）保護者・地域とのコミュニケーション

- ① 幼児のことで保護者から相談されることはよくありますか
- ② 地域の方が園行事に参加し、えんに興味を持ってくださっていると思いますか

### 【今後に向けた改善点】

- （1）やしま幼稚園の教育・保育の内容を見直し、認定こども園としての満3歳児・1歳児・2歳児保育の良さをアピールする。
- （2）新型コロナウイルス感染症の5類への変更を受けて、行事への保護者参加、地域開放事業の復活など地域や保護者とのコミュニケーションを復活させたい。
- （3）地域の子育て支援センターの役割として、誰でも通園制度（国が今年度モデル事業を実施）に近い将来全国展開される見込みであり、やしま幼稚園が従来から実施している満3歳児のちゅうりっぷ組や親子登園事業のめばえ組を活性化させる。